

令和4年度 事業計画

日本アルコール産業株式会社

令和4年3月30日

令和4年度の事業運営の基本方針

令和4年度は、3カ年計画（2022～2024年度）の初年度として、その諸施策を推進し、速やか且つ強力に、発酵、合成を問わず、安心安全で低廉な安定供給を実現します。

アルコール事業は、強靱な発酵サプライチェーンの完成のためグループ営業との連携を密にし、需給の構造変化に柔軟に対応しつつ、各工場の投資案件を確実に実施するとともに、高騰を続ける原料価格への対応を行います。また、日本合成アルコール株式会社の安定操業及び価格適正化の動きを支援します。

関連事業は、顧客ニーズを吸い上げ、商品力、営業力の強化を図ります。

また、新卒採用予定者の確保とグループ人事交流による人材活用を図るとともに、DXを推進し、情報基盤の安定的運用と充実を図り、新しい働き方に向けた職場環境整備に取り組みます。

I . アルコール事業

■ 発酵アルコール

- 2022年度に鹿島工場の製品及び原料タンク並びに出水工場の製品タンクの増設工事を完了し、鹿島工場の新系列建設は2023年度中の完成を目指します。
- 需給の構造変化に柔軟に対応したサプライチェーンマネジメントを徹底します。
- 新型コロナウイルス感染症対策の推移に配慮しつつ、高騰を続ける原料価格への対応を適切な時期に適正に行います。
- ウルサン原料貯蔵設備を効率的に運用し、発酵アルコール原料の安定的調達と工場への安定回送を図ります。
- FSSC22000の認証取得などグループ品質管理体制の強化を図ります。
- 販売用途拡大のため、酒類製造免許取得について検討を行います。

■ 合成アルコール

- ・販売数量の維持、拡大に努め、需給構造が変化し、原油高が持続するなか、合成アルコール市場の維持を図り、日本合成アルコール株式会社の安定操業と価格適正化の動きを支援します。

II . 関連事業

■ 発酵製品

- ・普通肥料の拡販に努めるとともに、化学肥料を含まない特殊肥料の商品力の強化と新商品の開発に取り組むほか、自社で施肥効果確認試験を行うために必要な圃場を出水工場に設置する準備に取り掛かります。
- ・土壌還元消毒資材については、重点攻略地区を定め、積極的な営業活動を行います。

■ アルコール製品

- ・手指消毒剤は、2024年度にコロナ禍によるピーク時の販売数量の30%達成を目標として、顧客ターゲットを定め拡販を行います。
- ・高付加価値差別化商品の開発を模索します。

Ⅲ. 技術力の強化

- 鹿島工場の系列増強プロジェクト並びに蒸留プロセスシミュレーション技術の活用、講習会への参加等を通じ、社員の技術力強化を図ります。

Ⅳ. 人材力の向上

- 計画的な採用、グループでの教育訓練、研修、資格取得を通じ、人材力の向上を図るとともにグループ人事交流による人材活用を図ります。

Ⅴ. DX推進を通じた業務改革

- 情報システム研修等による人材育成を行います。
- デジタル技術の活用による業務改革の取組み（DX）を推進します。

VI. 安定配当の継続

- 適正な営業利益の確保に努め、安定配当を継続します。

収支計画概要

以上の取り組みにより、令和4年度事業計画では、以下の目標の達成を目指します。

(単位:百万円)

売上高	31,789
営業利益	266
経常利益	279